

和島 省治

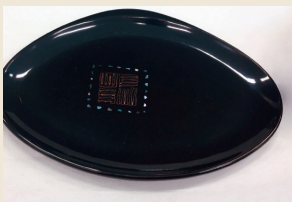
WAJIMA SHOUJI

- 1941年生まれ
- 1957年 津軽塗師 田中疋敏氏に師事
- 1963年 上京 漆芸家数田信次氏に師事
- 1971年 皇室の調度品修復
- 1981年 弘前市に工房をつくる
- 1991年 津軽塗伝統工芸士認定
- 1996年 全国漆器展通商産業省産業局長賞受賞
- 2010年 瑞宝単光章受章

工業試験場での研修中、恩師より「日本には沢山の塗物がある」という話を聞き、もっと色々な塗物に触れてみたいという一心で上京し、貴重な知識や経験を得ることが出来ました。青森に戻り他とは違う塗物は出来ないものかと試行錯誤の末、津軽塗の仕掛け模様を櫛目で表現する「津芸塗」というオリジナルの技法にたどり着きました。縦横に組み合わせられた櫛目の模様が、津軽塗の研ぎ出し技術によって美しく浮かび上がるこの「津芸塗」をぜひ堪能ください。



得意・好きな技法:津芸(つげ)塗



蒔苗 太

MAKANAI FUTOSHI

- 1947年生まれ
- 1964年 津軽塗の会社に入社
- 1994年 津軽塗伝統工芸士認定
- 1995年 塗師として独立
- 1997年 全国漆器展 青森県知事賞受賞
- 2001年 全国漆器展日本放送協会賞受賞
- 2014年 全国漆器展 伝統工芸品産業振興協会賞受賞

津軽塗の老舗に入社、4技法を修行し習得しましたが、私が一番心を惹かれた技法は紋紗塗でした。紋紗塗は他の技法のような派手やかさはありませんが、シンプルが故の渋い重厚感がとても魅力的です。紋紗塗はもみ殻のすすを使用して塗る技法でほとんどが黒色ですが、試行錯誤の末、赤や緑の色を綺麗に出すことが出来るようになりました。津軽塗のすばらしい伝統を崩さずに現在の生活様式に合い、お客様に喜んで使っていただけるような津軽塗を心掛けています。



得意・好きな技法:紋紗塗



秋元 勝彦

AKIMOTO KATSUHIKO

- 1942年生まれ
- 1956年 津軽塗の会社に入社
- 1961年 塗師として独立
- 1983年 津軽塗伝統工芸士認定
- 1987年 全国漆器展全国商工中金賞受賞
- 2001年 東北通商産業局長表彰
- 2010年 全国漆器展日本漆器協会会長賞
- 2011年 瑞宝単光章受章

中学校卒業後、父親の勧めで津軽塗の会社に入社しました。職人になって60年以上過ぎ、「手に職をつければ、一生食っていける」という当時の父の考えに今も感謝しています。津軽塗の伝統的な4技法を守ることも必要ですが、私は職人一人ひとりの個性も大事だと考えています。津軽の雪をイメージし、構想から3年を費やし開発した独自の「アワユキ塗」は特に女性のお客様からかわいくと喜ばれています。これからも後継者の育成に力を入れ、津軽塗の発展に努めていきたいと思っています。



得意・好きな技法:唐塗、アワユキ塗



今年人

KON TOSHIHITO

- 1957年生まれ
- 1973年 塗師・藤田文造氏に師事
- 1983年 塗師として独立
- 1994年 津軽塗伝統工芸士認定
- 2007年 日本漆工協会優秀漆工技術者表彰受賞
- 2013年 日本伝統工芸会功労者表彰受賞

津軽塗の中でも唐塗は、色使いや模様がとても多彩で奥が深く、製作していてとても面白く私の一番好きな技法です。私の津軽塗職人としてのモットーは「真面目で正直な仕事」です。素材にこだわり、地場産の素地や自分で採取した天然漆を多用して、下地から仕上げまで一切手を抜かず、見えない所まで丁寧に仕事することを心掛けています。沢山の皆様に、未永く安心して津軽塗漆器を使っていただきたいと願っております。



得意・好きな技法:唐塗



坂本 彰彦

SAKAMOTO AKIHIKO

- 1956年生まれ
- 1974年 津軽塗の会社に入社
- 1983年 全国漆器展 知事賞受賞
- 1988年 塗師として独立
- 1994年 津軽塗伝統工芸士認定
- 2000年 全国伝統工芸品公募展 入選
- 2005年 津軽塗伝統工芸士会長就任
- 2016年 経済産業大臣功労者表彰

はじめは津軽塗の会社で営業職をしていましたが、実際に塗ってみたいという興味から製作部門に異動しました。研ぎ出しによって模様を出し、そのちょっとした研ぎ出しのの違いによって模様が変化することも奥の深い技法に感銘を受けました。2000年頃には紋紗塗に松葉の模様を入れる技術を習得し、今なお自分の思い描く模様を研ぎだす為日々努力を続けています。そしてこの素晴らしい津軽塗の伝統・技術を絶やさぬよう津軽塗伝統工芸士会一丸となって頑張っていきたいと思っています。



得意・好きな技法:唐塗(変り塗)



白川 勝義

SHIRAKAWA KATSUYOSHI

- 1955年生まれ
- 1972年 塗師・須藤八十八氏に師事
- 1982年 津軽塗秀作展仙台通商産業局長賞受賞
- 1999年 津軽塗伝統工芸士認定
- 2001年 塗師として独立
- 2003年 日本伝統工芸士会作品展 入賞
- 2013年 全国漆器展経済産業大臣賞受賞

修行中に初めて唐塗の仕掛けをうち、漆を塗り、研ぎ出した時に浮かび上がった模様を見た時の感動を今でもはっきりと覚えています。その後、七子塗を修行し唐塗とはまた違う、和紋を綺麗に揃えるとても難しいシビアナ研ぎの技術に魅了され、何とかこの技術を身にしよう切磋琢磨してきました。師匠からの「時間はいくらかかっても、絶対に手を抜かず丁寧」という教えを守り、作品としてではなく製品として、お客様に気軽に未永く使っていただけるようなものづくりを心掛けています。



得意・好きな技法:七子塗

